



滝田としゆき たきた敏幸県議会サポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

成田新幹線構想引継ぐ都心直結線

9月定例県議会一般質問 印西市・栄町特集号

国・県・東京都の三者協議を要請

千葉県議会随一の保守派論客として活躍する滝田敏幸県議は9月27日、定例会一般質問に登壇。予算委員会を含め現役最多となる30回目の質問戦に臨みました。成田新幹線構想を引継ぐ都心直結線について、「都民ファースト」を掲げる東京都への働き掛けや国を含む三者協議会の設置を森田知事に提案。また、茨城県南部と北総地域を結ぶ若草大橋についても千葉県側延伸線の道路計画具体化へ向けた県・印西・栄における三者協議の加速化を要請するなど、執行部との一問一答を展開。3期目を迎え総務防災、総合企画、農林水産の常任委員長を歴任し存在感を示すとともに、滝田県議の県政における実行力と発言力が益々高まっています。

成田〜東京30分台構想の具体化へ全力



現役最多となる27回目の一般質問で登壇する滝田敏幸県議

滝田議員 成田空港の更なる機能強化において、3年間で年間発着枠が30万回から50万回へと大幅に拡大することが合意された。この機能強化の効果は十分に発揮していくためには、都心の交通アクセスの向上は

不可欠であり、県の施策として、都心直結線の優先順位は高いものと考えます。そこでどうか国、成田空港の更なる機能強化が図られる上で、東京都心の鉄道アクセス向上は死活的に重要と思うが、千葉県として、都心直結線の意義や必要性について、現在どのように認識しているか。

知事 都心直結線は、平成28年4月に国の交通政策審議会から出された答申において、首都圏の国際競争力の強化に資する鉄道ネットワークのプロジェクトとして位置づけられた路線でございます。

本県にとっては、成田空港と東京都心及び羽田空港のアクセス向上や、県北西部地域の交通利便性の向上が図られるという効果が期待されております。また、本年3月に年間発着枠を30万回から50万回へ拡大する成田空港の更なる

機能強化について合意され、今後、インバウンド等の増大が見込まれます。こうしたことから、成田空港のポテンシャルを十分発揮していくため、都心直結線の整備を早期に進めていく必要があると考えているところでございます。

「国策」として国に早期実現働きかけ

滝田議員 都心直結線の更なる機能強化によるインバウンドなどの旅客数増加の状況も踏まえ、鉄道アクセスの向上について必要性を訴えかけるとともに、都心直結線が国策として早期に実現するよう働きかけてまいります。

再質問 滝田議員 千葉県は国に対し、国、県及び東京都の三者が

協議する場の設置を働きかけていくべきと思うがどう考えるか。知事 都心直結線の実現による、都心のアクセス向上は、今後見込まれる空港旅客の増加に伴う混雑の分散や、災害時の代替機能的強化及び東京都東部地域の交通利便性向上などの点からも、東京都の利益につながるものと考えられます。

こうした利点について、東京都と認識の共有を図りながら、国に対し、三者協議の場の設置を働きかけてまいります。滝田議員 都心直結線は、極めて政治問題である。東京(小池知事)が都民ファーストという方針を打ち出して、少し都心直結線が後退しているように思われる。県としても、国及び東京都への働き掛けを強化し、早急に三者協議会の設置されることを要望する。

たきた敏幸県政報告会

森田知事、来たる!

地方の時代



北総の未来

- 明日の千葉と北総を語る -




鈴木 宗男 佐藤 優

- 11月29日(木) 18:15 (17:45開場)
- 印西市文化ホール
- 参加申込 0476-37-4173 (月~金/10時~17時)

県道鎌ヶ谷本桝線バイパス

千葉NTT〜栄町安食

H31年開通へ全力

滝田議員 県道鎌ヶ谷本桝線バイパスの進捗状況はどうか。

県土整備部長 県道鎌ヶ谷本桝線の現道は、狭隘で屈曲をしていることから、安全で円滑な交通を確保するため、印西市秋原から栄町安食までの4.5キロメートルについて、バイパス整備を進めています。

地元の皆様のご協力をいただき、面積ベースで98パーセントとなっており、これまでに、用地が確保できた区間で、全線において、路盤工事な

盛土工事や橋梁工事を進めてきたところで、今年度は、印西市区間の全線において、路盤工事な

ご理解とご協力をいただきながら、残る用地取得を進め、早期の完成を目指し、事業を推進してまいります。

今後とも、地元の皆様のご理解とご協力をいただきながら、残る用地取得を進め、早期の完成を目指し、事業を推進してまいります。

若草大橋延伸線道路計画

県・印西市・栄町の三者協議提案

滝田議員 若草大橋の延伸線について、検討状況は現在、用地の取得状況は、在りませんか。

県土整備部長 千葉県の北総地域と茨城県南部を結ぶ若草大橋の整備効果を更に高めるため、同橋南側に新たな道路を延伸することは重要であると考えております。

状況が踏まえ、県、印西市、栄町で地域の現状や課題などについて意見交換を実施したところで、引き続き、地元市町の意見を聞きながら、計画の具体化に向け検討をしてまいります。



北総地域の道路状況を視察する滝田議員

県では、これまで、周辺道路の交通状況や地域の制約条件などの基礎的調査を進めてきたところで、今年8月、これらの

滝田議員 印旛沼及びその周辺に生息する特定外来生物のカミツキガメについて、昨年、根絶を目指して捕獲を強化しているとの県の答弁があったが、依然として沼や周辺に多数生息していると聞いている。

環境生活部長 カミツキガメの捕獲につきましては、「カミツキガメの根絶に向けた基本戦略・ロードマップ」に基づき、昨年度から集中的に進めているところでございます。

カミツキガメの捕獲 過去最高1085匹

今年度はワナの数を増やしたほか、特にカミツキガメが活動的になる6月、7月に集中的に捕獲を行ったことなどによりまして、8月末までに昨年度の年間捕獲頭数1429頭を大きく上回る1835頭を捕獲したところでございます。

10月以降は、水温が低下して活動が鈍くなることから、ワナに替えて手探りによる捕獲を実施することにより、捕獲頭数の増加を目指してまいります。

保健康療担当部長 県では、一人でも多くの要救助者の救命を図るため、誰もが自発的かつ積極的にAEDを使用し、心肺蘇生を実施することができるよう環境をつくることが大変重要であると考えております。

そのような中、印旛地域

印旛地域・蘇生教育協議会設立

第一回印旛心肺蘇生セミナー 日医大北総病院で開催!



第一回印旛心肺蘇生セミナー

滝田議員 AED及び心肺蘇生法の普及についてうかがう。日本医科大学・千葉北総病院が中心となり、今年7月に「印旛地域・蘇生教育協議会」が発足した。8月10日には千葉北総病院で地域の小中学生と保護者を対象とした「第一回印旛心肺蘇生セミナー」が実施され、大変な盛況だった。

県内の医療圏ごとに、蘇生教育を行う協議会のような取組を広げていくことは有意義と考えるがどうか。

保健康療担当部長 県では、一人でも多くの要救助者の救命を図るため、誰もが自発的かつ積極的にAEDを使用し、心肺蘇生を実施することができるよう環境をつくることが大変重要であると考えております。

たきた敏幸・PROFILE

- 1960年 印旛郡印西町大森生まれ 大森小、印西中 県立我孫子高校卒業
- 1982年 同志社大学卒業
- 1999年 印西市議初当選
- 2003年 印西市議再選
- 2007年 千葉県議初当選
- 2008年 印西市消防団副団長
- 2009年 総合企画水道常任委員長
- 2010年 千葉県ラグビー協会会長
- 2011年 千葉県議再選
- 2013年 総務防災常任委員長
- 2014年 北千葉道路推進議連幹事長
- 2015年 千葉県議3選
- 2016年 農林水産常任委員長

●県政と印西市・栄町に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

たきた敏幸事務所

〒270-1326 印西市木下1521-125 2F TEL.0476(37)4173

こうした形なら学校の授業にも十分取り入れやすいのではないかと考える。是非とも各市町村教育委員会への情報提供を含め積極的な取り組みをお願いしたい。